

参 考 手 本

萬法は無門より出づ

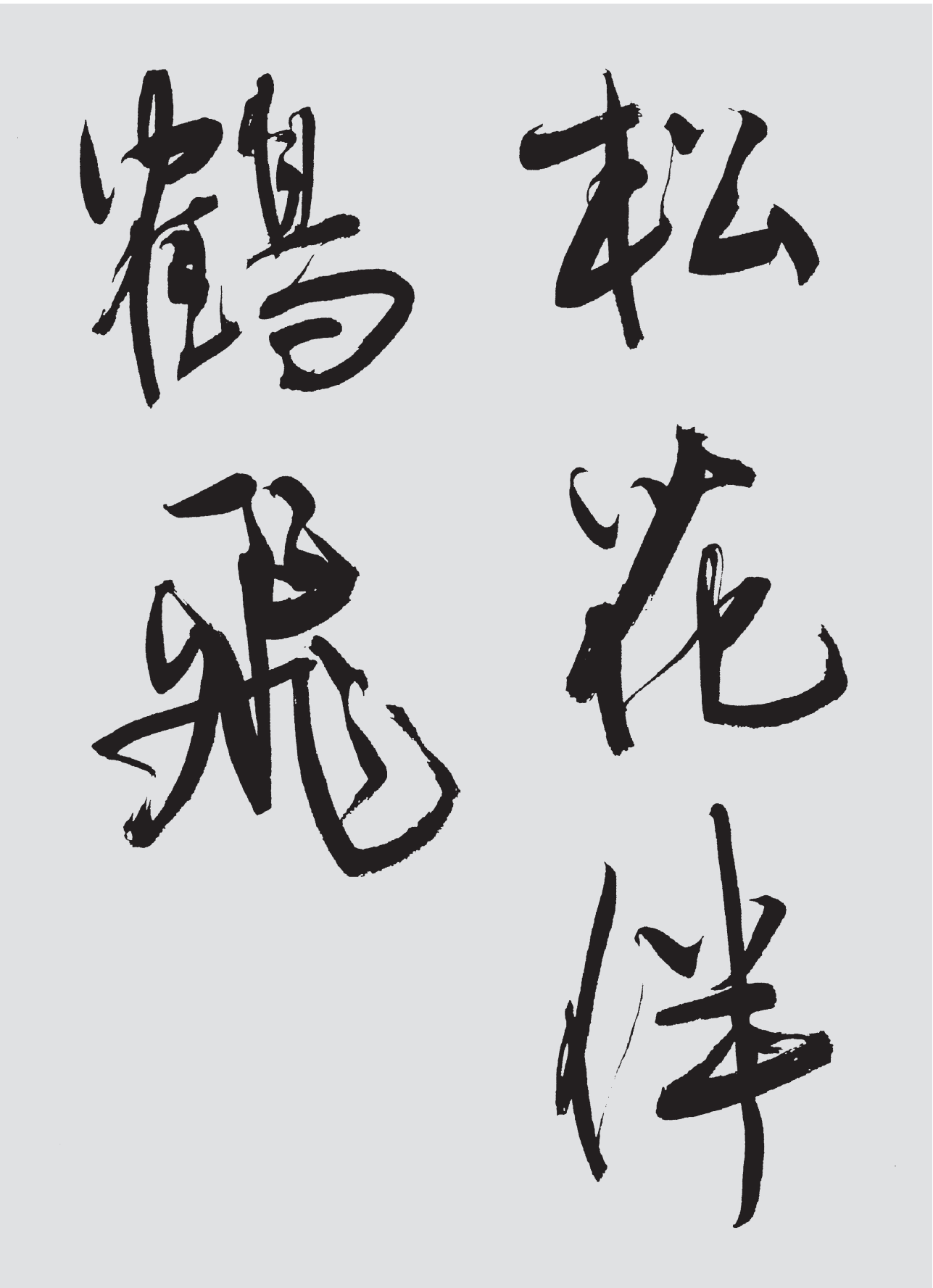
無 萬
門 法
出

※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

松花鶴飛を伴う



※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生

条幅規定 ①

A部 (準五段以上)



虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ④

竹素。懸諸日月。既而仁獸非時。
鳴鳥弗至。哲人云逝。峻嶽已隕。

竹素に紀し、諸を日月に懸く。既にして
仁獸時に非ず、鳴鳥至らず。哲人云に逝き、
峻嶽已に隕る。

竹簡や素絹に記されて、日月のように高くかかげられた。
しかしこうしている間に仁獸(麟)は時ならずして現わ
れ、鳴鳥(鳳)もやって来なかった。かくて哲人は逝去
され、峻嶽(泰山)も崩壊してしまった。

【今月の課題】

「既而仁獸非時鳴鳥弗至哲人云逝峻嶽已隕」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く
段・級を記入してください

(9月10日締切)

条幅規定 ②

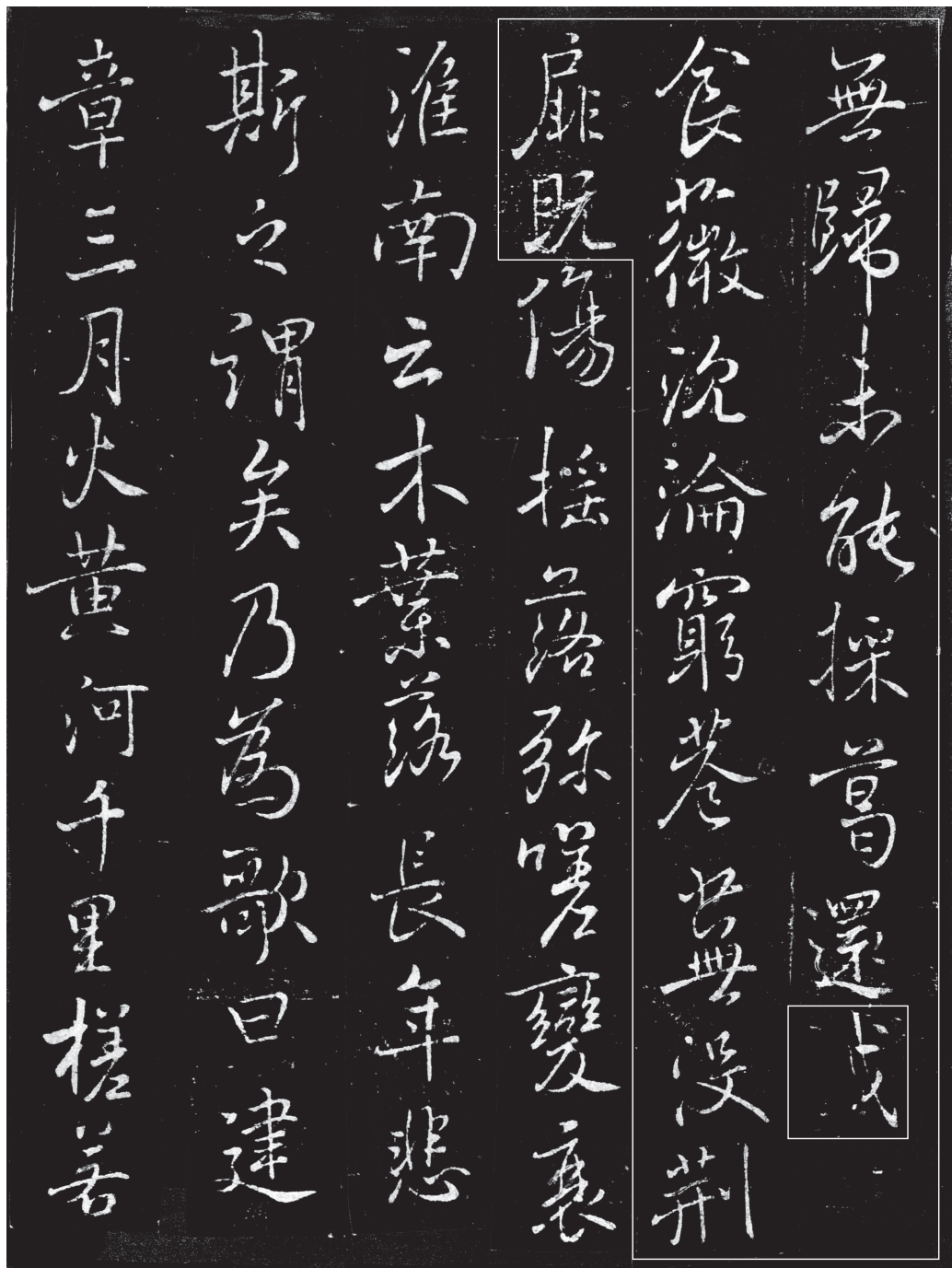
B部 (四段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑳



【今月の課題】

「無歸未能採葛還成」食薇沈淪窮巷蕪沒荆扉既」(18字)

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

無歸。未能採葛。還成

食薇。沈淪窮巷。蕪沒荆

扉。既傷搖落。彌嗟變衰。

淮南子云。木葉落。長年悲。

斯之謂矣。乃為歌曰。建

章三月火。黃河千里槎。若

歸る無く、未だ葛を採る能わ

ず、還た薇を食すを成すをや。

窮巷に沈淪し、荆扉に蕪沒

し、既に揺落を傷み、弥いよ

変衰を嗟く。淮南子に云う、

木葉落ち、長年悲しむと。斯

れ之の謂なり。乃ち歌を為り

て曰く、建章三月の火、黃

河千里の槎。若し

(9月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

鶡冠子曰聖

『鶡冠子』に曰う、「聖人の

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



伐殷商既定

殷商を翦伐す。既に爾の勲を定むるに

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(9月10日締切)

条幅参考手本

落木風蕭颯秋清竹鎖烟涼
陰忽滿地斜日到窗前

渡邊南嶂先生

落木風蕭颯 秋清竹鎖烟 涼陰忽滿地 斜日到窗前

落木風は蕭颯 秋清く竹は烟に鎖さる 涼陰忽ち地に満ち 斜日窓前に到る

長澤豊雲先生

玉關道路遠金陵信使疏
獨下千行淚開君萬里書

玉關道路遠 金陵信使疏 獨下千行淚 開君萬里書

玉関道路遠く 金陵信使疏なり 独り千行の涙を下し 君が万里の書を開く

条幅参考手本

松柏與龜鶴其壽皆千年嗟
羣物中而人獨不然

石田輝仙先生

松柏與龜鶴 其壽皆千年 嗟羣物中 而人獨不然
松柏と亀鶴と 其の寿は皆な千年なり 嗟羣物の中 而も人のみは独り然らず

浮 乘 清 郷 先 生

条幅かな

みねおろす松の嵐の音にまたひびきをそふる入相のかね (西行)

支部名 段級 姓号 (鉛筆可)

三年 三
みねおろす松の嵐の音にまたひびきをそふる入相のかね (西行)
農 二 萬 多 非、支 曾 留 可

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

(9月10日締切)

半紙かな（1級以下）

風は身に添ふべくなりぬ夜の秋（西坂三穂子）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

風は身に添ふべくなりぬ夜の秋

わけいらてたれかは人のたづぬべき岩かげ草のしげる山路を（西行）

船久保 棠苑 先生

※ちらし文字変換は自由

わけいらてたれかは人のたづぬべき岩かげ草のしげる山路を

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（9月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

ひとたび驚て再びは来ない野中
の道踏切り越えて母桑の畑麦の
畑丘のこの小学校で鐘が鳴る
鳩が飛ぶたつ 之好遠治の詩
支部名 段級 姓 号

鈴木 翡翠 恵 先生

(9月10日締切)

細 字

※一級〜八級は草書まで。

初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支 部
段 級
(名前は必ず楷書で書くこと)

姓 号

在	在	在	在
民	民	民	民
教	教	教	教
育	育	育	育
普	普	普	普
遍	遍	遍	遍
首	首	首	首
都	都	都	都

(9月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

反省するところに新しい計画が
 生まれ、新しい行動が生まれる。
 支部 級 姓 号

田 辺 翠 鶴 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

用筆は美しい優れた字を書く
 ための鍵であり、筆法。または
 「運筆」とも呼ばれる。
 支部 級 姓 号

青 柳 江 雲 先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（9月10日締切）

中2用

支部名
段級
名前

切手の
収集の

渡邊南嶂先生

中3用

支部名
段級
名前

海岸の
生物の

大越三宗先生

小6用

支部名
段級
名前

夜空の
星空の

渡邊南嶂先生

中1用

支部名
段級
名前

研究成果の

渡邊南嶂先生

(9月10日締切)

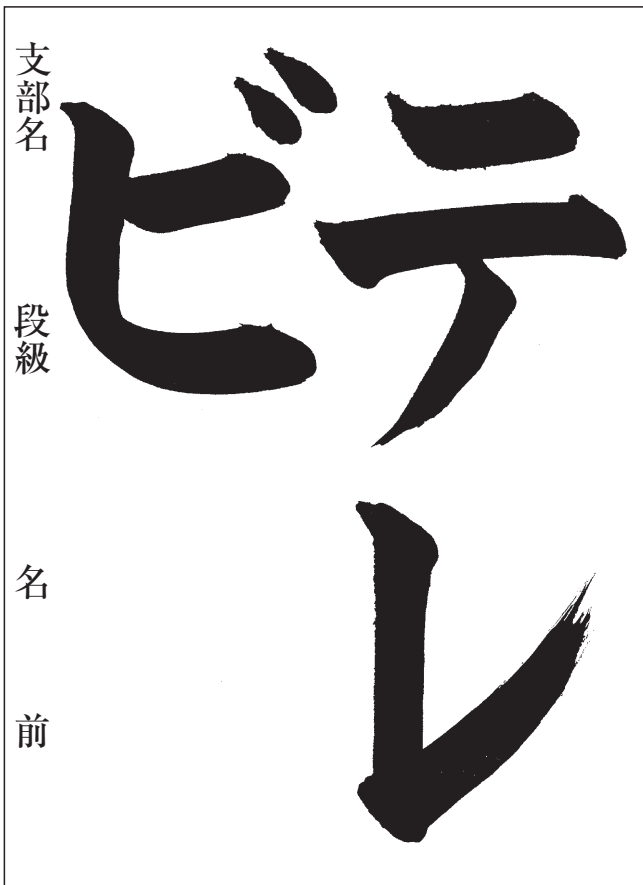
小4用



小5用



小2用



小3用



(9月10日締切)

中1

中学生になって、国語辞典を買ってもらった。

中1~中3

中2

書物を読むことは、秀れた人との会話と同じ。

青柳江

中3

楷書を美しく書ける人は、行書の移行が楽。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

い え

鈴木 翡翠 先生

小1・幼年

おまつりに、きんぎょをすくいしました。

小1~小3

小2

小どりは早おき、あさから元気です。

鈴木 蕙

小3

早ね早おき、きそく正しい生かつをしよう。

翠先生

小4

貝がらを耳にあてると波の音がきこえます。

小4~小6

小5

水族館で見たイルカの曲芸は、すごかった。

田辺 翠

小6

日中は夏の暑さが続く。身体に気をつけよう。

鶴先生

(9月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名
段級
名前
前

夏木立に
せみの声

主幹 菅野翠濤

支部名
段級
名前
前

朝がほ
ひも色に
おほ
花

船久保棠苑先生

※半紙半分を書いて下さい。(9月10日締切) ※半紙半分を書いて下さい。

10月10日締切課題予告

A部条幅規定 錫禮優往代事踰恆典於是在三陔命吹萬歸

B部条幅規定 傷搖落彌嗟變衰淮南芥云木葉落長年悲斯之

かな条幅規定 見る人もなくて散りぬる奥山の紅葉はよるの錦なりけり(紀貫之)

半紙規定(初段以上) 爾勲福祿攸 半紙規定(二級以下) 人之德上及太

半紙かな(初段以上) 衣手は寒くもあらねど月影をたまらぬ秋の雪とこそ見れ(紀貫之)

半紙かな(二級以下) はや秋の柳をすかすあさ日かな(夏目成美)

10月10日締切学生部課題予告並びに
後期昇段試験課題10月15日締切

中三規定 空想の世界 中三硬筆 日本は落葉樹の種類が多いので紅葉が美しい。

中二規定 紅葉実る秋 中二硬筆 目標を立て、達成のために工夫と努力をする。

中一規定 夕映えの雲 中一硬筆 書き終えた手紙は、折る前にもう一度読もう。

小六規定 月夜の海 小六硬筆 秋は文化祭や遠足など行事がたくさんある。

小五規定 楽しい旅 小五硬筆 ススキが秋風にそよいで銀色に光っている。

小四規定 月の光り 小四硬筆 休みの日、楽しみにしていた魚つりをした。

小三規定 もみじ山 小三硬筆 本間くんからず虫を二ひきもらった。

小二規定 ラジオ 小二硬筆 九月に入ると、そらがたかく見える。

小一規定 かき 小一硬筆 みかづきのかたちをかいてみました。

中学部かな 人声やこの道かへる秋のくれ

小学部小筆 星空に十五夜の月

令和6年後期昇段試験要項

左記により令和6年後期昇段試験を施行いたします。

*作品縮切 ・ 漢字 仮名部 9月9日(用)

・ 実用文 細字 硬筆部 9月20日(金)

◎漢字部 臨書課題

◆A部 六段・五段に応試(用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つき)

楷書 牛楸造像記 P・20参照

行草書 米芾・蜀素帖 P・20参照

隸書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘 P・21参照

◆B部 四段・三段に応試(用紙・謙慎サイズ40cm×160cm)

楷書 元楨墓誌銘 P・21参照

行草書 董其昌・行草書卷 P・22参照

隸書 曹全碑 P・22参照

◆C部 二段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘 P・23参照

行草書 王羲之・集字聖教序 P・23参照

隸書 曹全碑 P・24参照

◆D部 初段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘 P・24参照

行書 王羲之・蘭亭序 P・25参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

◎かな部

◆A部 六段・五段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

夕顔の花ほの白くたそがれて清しと思ふ月立ちにけり(島木赤彦)

(ロ)全懷紙「たて」に揮毫

今さらに山へかへるなほとときすこゑのかぎりはわが宿になけ(古今和歌集)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「小島切」を半紙半分相当(たて)に書く

◆B部 四段・三段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

夏に入る青草山のふもとよりけぶりのぼれりよき朝げかな(尾上柴舟)

(ロ)半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

滝の上に水現れて落ちにけり(後藤夜半)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)「関戸本古今集」7～8行相当(たて)に書く

◆C部 二段・初段に応試

(イ)半切「たて」に揮毫

よられつる野もせの草のかげろひて涼しく曇る夕立の空(新古今和歌集)

(ロ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4～5行相当(たて)に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

唐太宗は唐の第二代の皇帝です。王羲之の特に蘭亭序を酷愛して多くの書人に模本を作らせましたが、真跡は遺言によって太宗と共に埋葬されてしまいました。

◆B部（二段以下に応試）

八分とは隸書の一種で、破磔（横画の右払いで波の様に見える線の事）を持つものです。破磔のないものは古隸と呼ばれています。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

知章騎馬似乗船 眼花落井水底眠

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

風信帖は空海が最澄に宛てた手紙三通のことで、第一通の始まりが風信雲書とあるのでこう呼ばれます。四十歳前後に書かれたもので、空海の商品で最も有名なものです。

◆B部 四段〜準二段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）
筆の鋒先から紙面に加わる力のことを筆圧と言います。この圧力が強いと線は深く厳しくなり、弱いと甘く浅くなってしまう。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

半切は条幅の形式として最も一般的なもので、半折とも書きます。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

※合格者には合格証を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。

※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれぞれに鉛筆で記入）

※バーコード出品券にも現在の段級を記入し、一枚だけ貼り付けて下さい。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

後期昇段試験課題 (六段・五段)

楷書 牛欄造像記 (北魏・作者不詳)

彌勒像一區願牛欄捨於分段
之鄉騰遊无礙之境若存生生
於天上諸佛之所若生

中国法書選20 P 4 ~ 5

彌勒像一區願牛欄捨於分段之鄉騰遊无礙之境若存生生於天上諸佛之所若生 (33字)

行草書 米芾集より蜀素帖「重九会郡楼」(宋・米芾)

中国法書選48 P 7 ~ 8

山清氣爽九秋天黃菊紅葉滿泛船千里結言寧有後群賢畢至猥居前杜郎閑客今焉是

山清氣爽九秋天黃菊紅葉滿泛船千里結言寧有後群賢畢至猥居前杜郎閑客今焉是 (35字)

後期昇段試驗課題

(四段・三段)

(六段・五段)

隸書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘(清)

惟人為紀綱隱心而後動誘議
庸何傷無使名過實守愚聖所
臧產涅賢不濇曠曠內

惟人為紀綱隱心而後動誘議庸何傷無使名過實守愚聖所臧在涅貴不濇曠曠內(33字)

楷書 元楨墓誌銘(北魏・作者不詳)

使持節鎮北大將軍相州刺史
南安王楨恭宗之第十一

中国法書選 25 P 2

中国法書選 56 P 38 ~ 54

使持節鎮北大將軍相州刺史南安王楨恭宗之第十一(22字)

後期昇段試驗課題 (四段・三段)

行草書 董其昌「行草書卷」(明)

廓然無聖闕
扶危多剝形
卽證措
且半度
金種扶
曉香象
度河

中国法書選51 P5~6

廓然無聖闕板無多剝形卽證措思成魔金雞報曉香象度河 (24字)

隸書 曹全碑 (後漢・作者不詳)

姓緝負反者如雲
戢治廡屋市肆
列陳風雨時節
歲獲豐年

中国法書選8 P23

姓緝負反者如雲戢治廡屋市肆列陳風雨時節歲獲豐年 (23字)

後期昇段試驗課題 (二段)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐·歐陽詢)

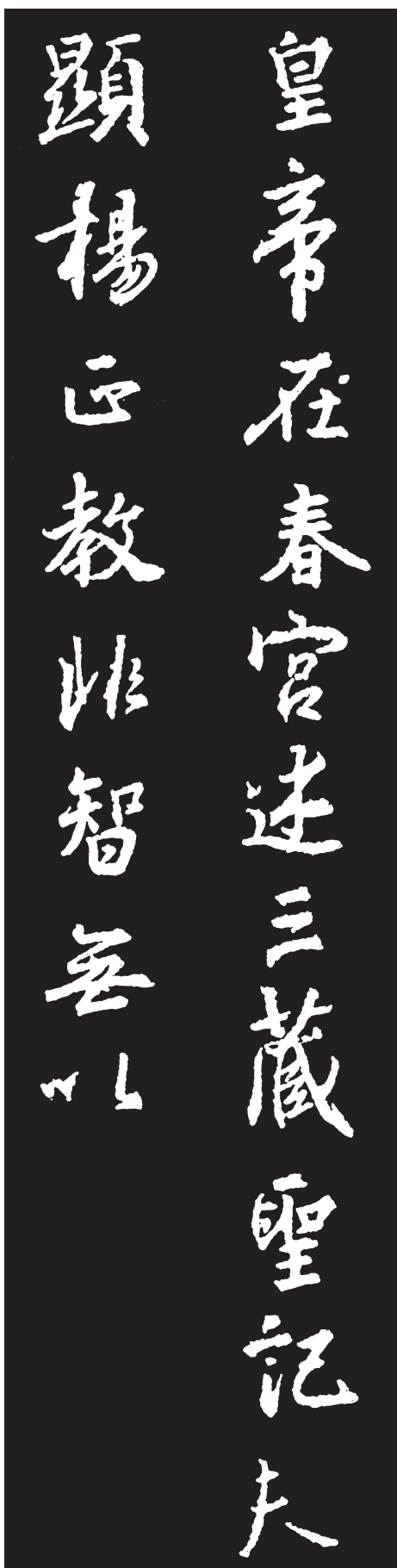


我享其功者也然昔之池
沼咸引谷澗宮城

中国法書選 31 P 18

我享其功者也然昔之池沼咸引谷澗宮城 (17字)

行草書 集字聖教序 (東晉·王羲之)



皇帝在春宮述三藏聖記夫
顯揚正教非智無以

中国法書選 16 P 18

皇帝在春宮述三藏聖記夫顯揚正教非智無以 (19字)

後期昇段試驗課題

(初 段)

謂至人無為大聖不作
彼竭其力我享其

謂至人無為大聖不作彼竭其力我享其 (16字)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐·歐陽詢)

中国法書選 31 P 18

(二 段)

存亡之敬禮無遺闕是以
鄉人為之諺曰重

存亡之敬禮無遺闕是以鄉人為之諺曰重 (17字)

隸書 曹全碑 (後漢·作者不詳)

中国法書選 8 P 10

後期昇段試験課題（初段）

◎昇段試験 受験料

	六～準五段 受験	四～準三段 受験	二～準二段 受験	初段 受験
漢字	4950円	4400円	3850円	3300円
かな	4950円	4400円	3850円	3300円
実用文	3850円	3300円	2750円	2200円
細字	3850円	3300円	2750円	2200円
硬筆	3850円	3300円	2750円	2200円

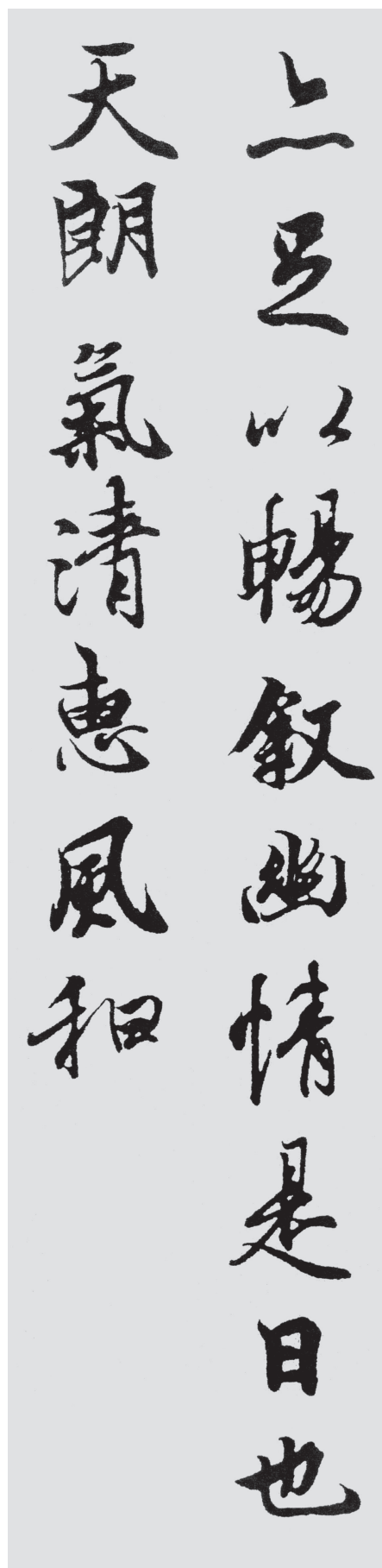
(税込)

◎昇段試験 手本代（参考価格）

	六～準五段 受験	四～準三段 受験	二～準二段 受験	初段 受験
漢字 (1書体)	5000円	3500円	2500円	2000円
かな (1セット)	8500円	7500円	6000円	6000円
実用文	2000円	2000円	1500円	1500円
細字	2500円	2500円	2500円	2000円
硬筆 (1セット)	7000円	6000円	6000円	3000円

(税別)

亦足以暢敘幽情是日也天朗氣清惠風和（17字）



行書 蘭亭序（東晉・王羲之）

中国法書選15
P 15